聖流

発　行
石川県立大聖寺高等学校　同窓会
2019.10.25
同窓会会報 第78号

題字…加賀市美術館 館長　長谷川 清 氏（第9回・昭和32年卒）

大聖寺高校は令和２年度に創立110周年を迎えます。

記念式典は2020年10月17日（土）に開催いたします。

聖高祭

8月29日 文化祭
30日 体育祭

ご挨拶

大聖寺高等学校同窓会
会長　長岡 義明

今年の夏は暑い日が続き、同窓生の皆様も大変な思いをされたこととお察し申し上げます。ようやくさわやかな秋らしい気候となり健やかに過ごしのことと存じ上げます。又、平素は同窓会活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、今年も８月10日（土）に同窓会総会及び懇親会を開催いたしました。約60名の参加をいただき総会では平成30年度の事業報告・一般会計決算報告そして令和元年度の事業報告・会計予算案が承認されました。

さらに、近年、生徒数の減少により同窓会の財務状況が非常に苦しくなってきております。同窓会運営財産の確保及び母校賛助などへの活性化実現のため、今年度より同窓生の皆様に協力金のお願いをすることとなり参加者のご賛同を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

又、来年迎える大聖寺高校創立１１０周年の記念事業や実行委員会の中間報告などもありました。

懇親会はオープニングに大聖寺高校吹奏楽部の演奏があり、その後楽しく和やかな時間を皆さんと過ごすことが出来ました。

来年はいよいよ創立１１０周年を迎えます。そこで総会参加者の目標を１１０名として活動を進めます。どうか同窓生の皆様もご協力くださることを心よりお願い申し上げましてご挨拶と致します。

退任のご挨拶

大聖寺高等学校　前校長
中川　素子

同窓生の皆様には、母校の教育振興と在校生の激励のために平素より格段のご後援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は平成29年の4月に着任し、以来2年間校長を務めさせていただきましたが、このたびの人事異動により本校を離れることになりました。

本校は南加賀を代表する県下有数の伝統校であり、校長職を拝命した時には重責に身の引き締まる思いがいたしました。着任後も、同窓生の皆様や地域の皆様から励ましのお言葉をいただくたびに、本校に寄せられている期待の大きさを知る一方、我が身の非力を痛感する日々でした。

とはいえ、「自主自律」「文武両道」を標榜する活気ある学校に勤務できることはこの上ない喜びであり、素直で伸びやかな聖高生から多くのエネルギーをもらい、生徒のためには労を惜しまない教職員に支えられて、この2年間を過ごすことができました。

大聖寺高校のミッションは、昔も今も「南加賀地区の基幹校として、地域の期待に応える」ところにあります。近年は、少子化により中学校の生徒数が年々減少するだけでなく、学校を取り巻く環境が様々な面で変化して、入学志望者を獲得するにも一層の努力が必要となっていました。そうした状況なればこそ、「学力保障・進路保障のできる学校」「地域に信頼され、地域になくてはならない学校」であらねばならないと、学校経営に当たってきたつもりです。

そこで、3年間を見通した進路指導体制を充実させ、生徒に高い志を持たせて、一人一人の進路実現を図ることを重点目標の第一に掲げました。そして、生徒の実態や学力層に応じたきめ細かな学習指導が本校の生命線であると考え、既に開設されていた特別進学クラス〝スパークス〟を牽引役として、全体の学力向上を図りました。今春、特進1期生の学年を送り出しましたが、阪大、名大、北大などの難関大や地元金大をはじめとして多くの国公立大学に合格者を出すことができたのは、生徒本人の努力は勿論のこと、教職員一丸となった指導・支援の賜物だと思っています。

また、部活動や生徒会活動の充実も重点目標の一つでした。全国大会出場を果たした部もあれば県ベスト8が目標の部もあり、目指すところはそれぞれですが、仲間と助け合い、ひたむきに努力することの価値は変わるものではありません。今後も各部が活躍し、学校を盛り立てるとともに、一人一人がたくましく成長を遂げるよう、期待しています。

2年の月日は瞬く間に過ぎ、聖高を離れることとなった今、愛惜の思いは尽きません。在任中は、長岡会長をはじめ同窓会の皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。同窓生の皆様のご健勝、ご活躍と同窓会の益々のご発展を祈念申し上げますとともに、来年度創立百十周年を迎えます大聖寺高校が今後も南加賀の伝統校として発展し続けることを心よりお祈りして、お礼のご挨拶といたします。

（平成31年4月記す）

新任のご挨拶

大聖寺高等学校　校長
稲葉　幹雄

同窓生の皆様には、平素より本校の教育活動に物心両面にわたり篤いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度、前任の中川校長より引き継ぎました稲葉と申します。かつて、平成2年4月から平成14年3月まで教諭として在籍しました。そのときの空気が肌感覚として感じられるような錯誤もあり、二十年近くの時間の疎隔がありながらも、復帰してわずか半年ほどですが、学校全体がすっかり体になじんでくる思いがいたします。それというのも、教諭として若き日に過ごした当時と、今現在とは、生徒の気質や職員の雰囲気において非常に似通っていることも理由かもしれません。

今年から元号も令和に改まりました。平成という時代は、戦争による惨禍もなく、平和を謳歌した時代であったのかもしれません。それでも、バブルがはじけ、失われた二十年という言葉が生まれ、阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめとする自然災害、リーマンショックなど様々な苦難が我が国に訪れたことも事実です。ましてや、明治・大正・昭和にまで遡り、その間にあった幾多の歴史化した事実を通覧した上で、本校が持つ百有余年の歴史に思いを寄せるとき、改めて時間の重み、伝統への尊崇を禁じ得ません。現代は、変化の著しい時代と言われ、ある調査によりますと、一企業の平均寿命は十八年と言われています。栄枯盛衰は世の常とは言え、改めてその事実に愕然たる思いがします。それ故に、明治にはじまり、この令和までの長きにわたり、南加賀の雄であり続けたことは、ひとえに全国二万六千人を超える同窓生の方々のご尽力の賜と思っております。

皆様方のご支援もあり、在校生も各方面で活躍を続けてくれています。今春、特進クラス「スパークス」が初の卒業生を送り出しましたが、大阪大学をはじめとする難関大学や地元金沢大学にも合格者を出し、期待どおりの結果を出すことができました。部活動でも、体操部、放送部は全国大会の常連として名を連ね、吹奏楽部は県代表金賞を獲得するなど、活気をもたらしてくれています。何より、生徒の純真さと教員の熱意とは本校の変わらぬ良き伝統と思っております。先日行われた聖高祭も、生徒、職員が一体となって盛況のうちに終えることができました。皆様が在学していた当時となんら変わることのない日々が、今でも丹念に重ねられております。

来年は創立百十周年を迎えます。変化が激しく、様々なものが流動化、多様化する時代であるからこそ、節目節目に永遠なるものを希求し確認したい、そして感謝したいというのは人間心理ではないかと思います。来年10月17日は、そのような一日にしたいと思っております。皆様にお目にかかれる日を心待ちにしております。

平成30年度 卒業証書授与式

平成31年3月1日（金）午前10時より第71回卒業証書授与式が行われ、同窓会からは会長 長岡義明氏、顧問 萬谷守男氏、竹田永一氏の3名が出席されました。

長岡会長からは祝辞として、「『協調』という言葉を大切に、他人を思いやる心、弱者を慈しむ心を持つ人になって下さい。」との言葉が卒業生に贈られました。

また、答辞では特進クラス（Sparks）に在籍した東野うれはさんが、在校生に「夢をつかめ」という言葉を（中国語で）贈りました。

同窓会から卒業証書ホルダーが卒業生に贈られ、最後に一同で蛍の光を斉唱し、198名が高校生活の思い出を胸に巣立っていきました。

令和元年度 入学式

4月8日（月）午後2時より、本校第2体育館にて入学式が行われました。同窓会からは長岡義明会長、竹田永一顧問が来賓として出席しました。

新入生代表として片山津中学校出身の出島奏海さんの宣誓、在校生代表の小中理央さんの言葉が述べられ、閉会となりました。

各中学校別入学数は、錦城27名、片山津24名、山代30名、山中6名、東和13名、橋立2名、南部23名、松陽10名、御幸6名、丸内3名、安宅1名、板津1名、国府1名、根上4名、寺井3名、美川1名、森田1名となっています。

平成30年度 卒業生の大学合格状況

本年3月母校を巣立った198名の卒業生の大学合格状況は、下表の通りです。

一学年5クラスとなった2年目の特進クラス（スパークス）1期生の学年が卒業を迎えました。学年団を中心に熱意ある指導を継続し、国公立大学全体で56名の合格者（前年より15名増）を出すことができました。また、大阪大学1名、名古屋大学1名、北海道大学1名、お茶の水女子大学1名、と難関大と呼ばれる大学にも合格者を出すことができ、地元の情報誌などにも大きく取り上げられました。

さらに、特筆すべきこととして、特進クラスの国公立大学の進学率は81％（42名中34人）であったこと、特進クラスの生徒だけでなく普通クラスからも計22名の生徒が国公立大学に合格をしました。最後まで教師とともに粘り強く取り組んだ成果であると思われます。今年の受験を総括し、センター試験と二次試験に十分対応できる基礎学力をつける取組みに足らざる部分があったこと、二次対策への移行が若干遅くなったことなどを、今年度の指導につなげていきたいと考えております。

私立大学については、関東地区の上智大学、中央大学、明治大学などの有名私大に合格者を出すことができました。また、関西地区の有名校にも一定数の合格者を出すことができましたが、私立大学の定員の厳格化の影響もあり、合格率については厳しい結果であったと言わざるを得ません。大学受験の中枢科目である英語の学力不足が大きく影響したものと思われます。現2年生の大学受験時から始まる新テストへの対応も含めて、低学年からの英語の学力引き上げが今後の本校の重大な課題であると認識しています。

聖高の伝統、すなわち最後の最後まで地道に頑張って進路実現を果たすこと。この良き伝統を受け継いで、地域の進学拠点校としての矜持を今後も維持していきたいと思います。そのために、30年度の総括と反省をしっかり行い、足らざる点を補い充実させるべく、我々教職員は全力を注ぐ覚悟です。人口急減等、厳しい状況下にある本校ですが、同窓生の皆様の温かいご支援を今後も賜りたいと思います。

平成31年3月31日現在

国公立大学	北海道大	1	秋田大	1	お茶の水女子大	1	新潟大	1	富山大	6	国立大 計29名
	金沢大	4	福井大	7	信州大	2	名古屋大	1	大阪大	1	
	奈良女子大	1	奈良教育大	1	島根大	1	愛媛大	1			
	埼玉県立大	1	高崎経済大	1	富山県立大	2	石川県立大	2	石川県立看護大	1	公立大 計27名
	公立小松大	8	福井県立大	2	都留文科大	3	長野県立大	1	大阪市立大	1	
	兵庫県立大	1	岡山県立大	2	新見公立大	1	宮崎公立大	1			
私立大学	明治大	2	関東学院大	2	福井工業大	60	関西大	5	神戸国際大	1	私立大 計413名
	中央大	4	湘南工科大	2	福井医療大	4	龍谷大	3	神戸山手大	1	
	上智大	1	明海大	2	日本福祉大	2	京都産業大	11	大手前大	2	
	東京理科大	1	新潟医療福祉大	2	愛知工業大	1	近畿大	8	武庫川女子大	2	
	日本大	4	金沢星稜大	50	名古屋学院大	1	甲南大	1	神戸女子大	2	
	東洋大	1	金沢工業大	53	名古屋商科大	3	関西外国語大	3	松蔭女子学院大	4	
	亜細亜大	1	金城大	20	名古屋経済大	5	京都女子大	6	神戸海星女子学院大	1	
	大東文化大	3	金沢医科大	1	愛知東邦大	1	佛教大	3	岡山理科大	1	
	東京農大	1	金沢学院大	45	東海学院大	2	京都精華大	8	倉敷芸術科学大	1	
	武蔵野大	1	北陸学院大	13	岐阜聖徳学園大	1	京都ノートルダム女子大	1	筑紫女学園大	1	
	武蔵野美大	1	北陸大	25	静岡理工科大	2	大阪学院大	1	日本経大	1	
	明星大	1	富山国際大	1	同志社大	2	大阪産業大	5			
	多摩美術大	1	高岡法大	1	立命館大	4	追手門学院大	1			
	麗澤大	2	仁愛大	6	関西学院大	2	神戸学院大	3			

は難関10大学　は北陸三県の大学

令和元年度

定例理事会が開催されました。

6月30日（日）、百周年記念図書館2階の多目的ホールにて定例理事会が開催されました。

◀謝辞を述べる佐々木氏

長岡会長および稲葉校長の挨拶の後、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画案・予算案が承認されました。また、会報「聖流」の10月中旬への発行時期変更が承認され、百十周年記念事業について、事業委員会よりプロジェクター設置の経過報告、祝宴委員会より祝宴会場の提案がされ、承認されました。

理事会に続き、海上自衛隊第1術科学校教官 荒栄 拓也氏（平7年卒）を講師にお招きし、「海自の現状と装備について」と題した卓話をお聞きしました。荒栄さんの同級生や地元の方々など、多くの人がかけつけてくださり、例年以上に大変な盛り上がりとなりました。日頃私たちが知りがたい海上自衛隊の詳しいお話しを、写真を見せていただきながら軽妙にお話しいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

▲卓話される荒栄氏

「近畿聖高会」総会および懇親会開催

9月7日（土）にホテルヴィスキオ尼崎にて第26回近畿聖高会総会および懇親会が開催されました。

本部からは長岡義明 会長（昭42年卒）、永山信也 副会長（昭47年卒）、土山樹一郎 教頭、東野哲弥 事務局長（昭61年卒）の4名が出席しました。

総会では、近畿聖高会会長 南出 仁様の挨拶があり、定例の報告がなされました。その後、懇親会では校歌斉唱に始まり、それぞれのテーブルで思い出話しに花が咲いていたようです。大聖寺高校の放送部作成の学校紹介ビデオが上映され、会員みなさまが現在の母校の様子を熱心に見入っていらっしゃいました。非常に楽しい一時を過ごすことができました。

▲長岡会長

▲挨拶をする南出会長

詳細は近畿聖高会HPをご覧ください。
又、関西方面の方で近畿聖高会にご興味のある方は是非、近畿聖高会事務局 TEL 06（6394）1762にお問い合わせください。

英語暗唱大会を終えて

山中中学校3年　中田　雄士

私は、英語を話すことがとても好きです。新しい単語を覚えたり、言い方を工夫したりして、相手に伝わった時がとてもうれしいからです。今回の原稿を手にしたとき、まず、内容をよく理解するのに努めました。そして、日本語訳になっている小説を探して、どのような情景かもイメージしました。

英文を覚えてからの細かい発音やイントネーションは英語科の先生や ALT の先生にたくさん教わりました。そのおかげで自信がつき、落ち着いて発表することが出来ました。練習してきたことが聴く人たちに伝わり、とてもうれしい気持ちになりました。

この大会に出場した皆さんの発表は、とてもレベルが高くて、聴いているだけで楽しい気持ちになりました。

今回の英語暗唱大会に参加させていただいたことやご指導いただいたこと、また、応援してくれた皆さんにとても感謝しています。これからも、たくさん勉強していき、上達していこうという意欲がわいてきました。

第71回は令和元年11月2日開催

第70回 南加賀地区 中学校英語暗唱大会

平成30年11月3日（土）に本校図書館2階多目的ホールにて、大聖寺高校同窓会主催の第70回南加賀地区中学校英語暗唱大会が開催されました。来賓として、加賀市教育委員会教育長（代理）越中谷　法昭氏、加賀ライオンズクラブ会長 萬谷　正幸氏、山中ロータリークラブ会長（代理）石川光良氏をお迎えし、6中学の代表24名が参加して行われました。この伝統ある大会も、お陰様で第70回を迎えることが出来ました。長年にわたりこの大会にご後援いただきました加賀ライオンズクラブ、山中ロータリークラブ、北國新聞社、そして、加賀市教育委員会ほか関係各位に心より感謝申し上げます。

上位入賞者は下記の方々です。

発表の様子▶

3年の部
第1位　中田　雄士（山　中）
第2位　深村　史織（片山津）
第3位　坂中　敢武（橋　立）

2年の部
第1位　富永　亜睿（東　和）
第2位　新家　彩桃（山　中）

1年の部
第1位　峯村　柚衣（錦　城）
第2位　田中　祐輝（橋　立）

▲入賞者と記念撮影

令和元年度

大聖寺高校同窓会総会・懇親会が開催されました。

▲挨拶をする長岡会長

8月10日（土）午後5時30分より、長生殿（加賀温泉駅前）にて近畿聖高会　南出仁会長（昭46年卒）の出席を賜り、約60名の参加を得て総会および懇親会が開催されました。

総会では平成30年度事業経過報告および一般会計決算報告、令和元年度事業計画案および一般会計予算案が承認されました。また、今年度より同窓会運営財産の確保及び、母校賛助などへの活性化実現のため、同窓生の皆さまにお願いすることになりました協力金についても拍手承認されました。その他、2020年に迎えます大聖寺高校創立110周年の記念事業であるプロジェクターを設置について、工事終了の報告がされました。

懇親会は、大聖寺高校吹奏楽部の演奏の後、大橋自無さん（平15年卒）の司会のもと、参与の西出隆則さん（昭47年高普卒）による乾杯の発声で始まりました。途中、撥美音ぼたん会の皆さんによる三味線に唄や踊り、チェロやピアノで会場を盛り上げていただきながら、旧交を温めたり、恩師と思い出話しを交わしたり楽しい一時を過ごしました。いよいよ来年に迫っております110周年記念事業に向けて結束を固める良い会となりました。

最後に道田純平さん（平15年卒）に中締めのことばをいただき、校歌を歌い再会を期して散会となりました。

▲西出参与による乾杯

▲撥美音ぼたん会

▲大聖寺高校吹奏楽部

▲道田さんによる中締め

令和元年度大聖寺高校同窓会に参加して

平15年卒　大橋　自無

8月10日に長生殿にて、同窓会が行われました。参加にあたり、在学当時に部活でご指導を頂いた東野哲弥先生がお声掛けをしてくださいました。そこで同級生を誘い参加させて頂くこととなりました。

同窓会には初参加でしたので、不安と期待を胸に会場に入りました。懇親会では、県で素晴らしい成績をおさめられたブラスバンド部の演奏を聞くことができました。思いかけず、私の教え子と再会することができ、成長した姿にとても喜びを感じました。また、初めてお話させていただいた先輩。久しぶりにあった後輩。当時ご指導を頂いた先生方。同窓会ならではの場面がありとても楽しいひと時を過ごすことができました。最後には懐かしい校歌を歌い、母校に思いを馳せることができた素晴らしい会となりました。

さて、卒業していった先輩方から新しい時代を刻む現役生に引き継がれて109年。いよいよ来年は110周年です。大聖寺高校がますます盛り上がるように皆さまぜひ同窓会にご参加していただけたらと思います。

来年度の幹事の方々（敬称略）

令和2年度総会は、左記の方々を中心に運営をお願いすることになります。

この方々より、参加依頼がございましたら、ぜひご協力下さい。

主幹事

平成16年卒

沖野未知也　竹村　麻美　藤岡　尭
井村　理恵　青柳　陽介　細川　詩織
向出　匠　塩口　舞　中村　秀平
桑原　麻有　松木　慎吾　山口　直子
吉田　悠馬　松本　弥生　佐竹　智樹
西山知江子

副幹事

平成17年卒

荒谷　幸輝　氷見　綾　田島　一成
今井加奈子　近元　友祝　岡崎　真衣
西出　広喜　髙畑　侑里　山田　恭輔
穴澤有里恵　宮本　一生　山口麻梨子
後藤　一則　西田　有里　湊　亮介
石田　京子

副幹事

平成18年卒

嘉野　翔太　小森　聡美　宮崎　公平
黒田　麻美　大坂　隼矢　村中　愛
山口　結貴　西出百合香　道券　誠史
宮下紗絵子　辻　直人　北本　成美
北野　良晃　米田　亜起

※お名前は卒業時の名前で表記しています。
※事前に連絡が取れなかった方が含まれています。ご了承下さい。

同窓会の総会・懇親会はすべての同窓生が参加できます。

創立110周年記念事業を成功させよう！

会報、ホームページ等で皆さまもご存じのことと思いますが、令和2年度には母校大聖寺高校は創立110周年を迎えます。

記念式典は、2020年10月17日（土）の開催を予定しており、その日まで、いよいよ1年程となりました。

現在、各実行委員会を中心となり、110周年記念事業に向けて鋭意業務を進めております。記念式典や祝賀会に多くの方々のご参加をお待ちしております。

110周年記念事業に向けたこれまでの経緯について

110年記念事業の一環として、平成30年度理事会・総会において学校側より各教室へのプロジェクターの設置をお願いしたいとの要望が出され、令和元年8月の設置もあわせて承認されました。写真にありますように、プロジェクターの普通教室への設置は、本年8月に工事が終了しました。生徒たちの授業に大いに役に立てられ、活発な授業が展開されることを同窓会として切に願うところです。

加州大聖寺藩参勤交代うぉーく2019に生徒と共に参加して

教諭　中川　亜弓

7月29日（月）に始まりました「加州大聖寺藩参勤交代うぉーく2019」に、生徒2名と参加させていただきました。前日の朝に聖城高校で出発式を行い、多くの方々に見送っていただきながら、バスから笑顔で手を振ったことを覚えています。「果たして明日はどうなるのだろうか。無事に完歩できるのだろうか。」猛暑日の中20キロもの距離を歩くという初めての体験に、期待と不安を胸にしながら、3人で東京へと向かいました。

夕方に日本橋に着き、近くのホテルでゆっくりと休養をし、翌朝6時に日本橋に集合、そして遂に6時30分を迎え、「うぉーく」が始まりました。当日の東京は梅雨明けの初日でしたので、厳しい暑さが早朝から感じられました。途中に休憩所があるとは聞いていたのですが、休憩所までの道のりが永遠に感じられるほどでした。しかし、そういう思いがあったものの、参加者の方々との会話は時間が経つにつれ弾んでいきました。生徒2名も体力は奪われていく一方だったにも関わらず、参加者の方からおやつをいただいたり、途中で立ち寄った神社でお守りを買ったりと、「うぉーく」の最中のささやかな楽しみに、嬉しそうな表情を浮かべていました。

やっとの思いで休憩所に着いたのですが、そこでまだ中間地点だと知ったときの2人の驚いた様子は、今でもはっきりと覚えております。後半は私も生徒も体の痛みを隠し切れなくなっていたのですが、歩きながらの楽しい会話と、誘導してくださったボランティアの方々の温かい励ましのお言葉に支えられながら、なんとか完歩いたしました。久しぶりになにかを「やり遂げた」という思いを抱くことができました。この思いは生徒2人も持っていたはずです。2人とも、疲れ切っているにも関わらず、素敵な笑顔を見せてくれました。

このような機会をいただけたことに感謝し、ここで学ばせていただいたこと、「取り組んでいるものごとが辛いほど、やり切ったときには何とも言えないような達成感が待っている」ということを胸に、目の前の物事に取り組んでいきたいと、私だけでなく、生徒2人も思ってくれていることでしょう。

加州大聖寺藩参勤交代うぉーく2019について

加賀聖城高校のプロジェクトに加賀3高校で協力しました。

藩政時代に加州大聖寺藩が行っていた参勤交代を再現し、東京都日本橋～石川県加賀市大聖寺（540㎞）を完歩しました。

同窓会も参加費の一部を援助しております。

8月11日　最終日　到着式と歩行の様子

昭和43年卒3年1組

恩師を偲ぶ会及びクラス会の開催報告

クラス会幹事
表　能理子　菅野　俊司
中田　清英　西出　利一

令和元年（２０１９年）５月11日、穏やかな陽光に恵まれたこの日、私たち昭和43年卒業３年１組のメンバーは久しぶりに顔を合わせました。昨年亡くなられた担任の北村健三先生を偲ぶ会と、あわせて私たちの古希を祝うクラス会を開くためです。

先生の偲ぶ会は、ご遺族の方々と共に菩提寺である大聖寺の専稱寺で行われました。先生のご遺影を前に、ご住職の読経のあと、各自お線香を上げて先生のご冥福をお祈りしました。

先生にお世話になったのは、長い人生のわずか1年にすぎません。しかし、感受性の強い青春時代に受けた学恩は、その後の年月を支える道標になりました。その甲斐あって、いま、クラスのメンバーは、地域の区長や民生委員など地域の発展に努めている人、学校の先生、企業の経営者、大学教授、画家や作家として活躍している人、家族を介護し支えとなっている人や、日々の生活を楽しんでいる人など、多士済々です。それを感謝して心を込めて合掌しました。

その後、ところを変えて、料亭「たか橋」でクラス会に移りました。クラス会もこれまで回数を重ねて今回は第６回目の開催となり、高校卒業後50年の古希を迎える節目の会です。最初に故人となった学友に献杯を捧げました。おいしい加賀料理に舌鼓を打ちつつ、歓談に移ります。アルコールが入ると共に、会の雰囲気は自然に18歳の若き高校生に戻ります。

語らいは楽しく、時間が過ぎるのを忘れるのはこのことだと実感します。会の途中で、参加者に近況報告を求めると、各自話が長くてなかなか次の人に進みません。言いたいことが多いからです。「みんなに話したい！」なのです。最後に全員で校歌を斉唱しました。なんと３番まで歌詞を間違えず歌えて感激しつつ、お開きとなり、再会を誓って散会しました。

バスケットボール部「創部90周年記念式典」の開催

大聖寺高校バスケットボール部は、昭和４年４月に創部され今年で90周年を迎えました。これにあたり、令和元年８月12日加賀市長生殿にて「創部90周年記念式典」を開催致しました。

全国でご活躍中のＯＢ・ＯＧ約90名、現役生約40名の総勢約１３０名が一堂に会し、昔を懐かしみ、絆を深め、親睦を図り、大盛況に終わりました。

また、フリースロー対決では最年長である85歳の大先輩の挑戦も大いに盛り上がりました。

〈シューティングの会〉

令和２年１月３日午後より開催予定です。沢山のご参加お待ちしております。

大聖寺高校同窓会にご寄附いただきました。

昭和33年卒　小西征夫さん（札幌市）より多額の寄付金をいただきました。来年度に行われます110周年記念事業に大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

同窓会運営協力金のお願い

会報と同封しました趣意書にてお願いしております「協力金」につきまして、納入方法等、下記に説明させていただきます。いま一度趣旨をご理解いただき、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、ホームページでもご確認いただけます。

●協力金の主な使用目的

1　会報「聖流」の発行

終身会費納入者（昭和56年3月以降ご卒業の方には納入いただいております）には、会報「聖流」を送付させていただいております。同窓会の様子、母校の活動報告、総会・懇親会の様子など、内容に創意工夫しながら今後も編集作業に取り組んでまいります。

2　英語暗唱大会の開催

第70回を迎えた伝統ある英語暗唱大会。毎年各加賀市内中学校から、この大会を目標に練習を重ね中学生が参加しています。これを機に大聖寺高校に興味をもってもらい、大聖寺高校への入学生が増えてくれることを期待しています。

3　母校の教育活動の支援

・全国大会出場旅費の補助など
・卒業記念品の贈呈
・各行事への参加補助など

4　各支部への総会祝金、役員出席の会費、旅費補助

5　周年事業に向けて積み立て（基本財産）

●協力金の納入方法

郵便局またはコンビニエンスストアにて振込取扱票（同窓会会報「聖流」に同封されている用紙）でご送金ください。振込手数料は不要です。

お手元に会報等届いてない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。振込用紙を郵送させていただきます。

今後、毎年会報の発行時にご協力をお願いしてまいります。あくまでも任意のご寄附ですので、ご都合のつくときにご協力ください。

※納入いただきました方には会報「聖流」にご芳名を掲載してまいります。ご芳名を希望されない方は郵便振り込み用紙ご利用の場合、その旨をチェックしてください。またコンビニエンス振り込みをご利用の場合は、お手数をおかけいたしますが、同窓会事務局までご連絡ください。

★郵便振込用紙　　1口　5,000円
（1口以上のご協力でお願いいたします。）

★郵便局・コンビニエンスストア併用振込用紙　　1口　3,000円

※郵便局・コンビニエンスストア併用振込用紙ご利用の場合、定額になります。5,000円以上（一口以上）をご協力頂ける方は郵便局用振込用紙をご利用ください。

聖高生の活躍

令和元年度石川県高等学校総合体育大会

☆体操競技
女子　団体優勝
中野　真琴(3) 齊藤わかば(2) 柴田　愛唯(2)
竹田　美月(1) 寺西　小雪(1)
女子　個人総合２位（ゆか２位・段違い平行棒３位）
齊藤わかば(2)　⇨全国大会・国民体育大会出場

☆サッカー競技　女子　３位

☆陸上競技
女子　砲丸投２位・円盤投４位　秋田　智菜(3)
⇨北信越大会出場
男子　800m８位　山下　悠希(3)

☆弓道
男子　個人７位　畑　彰汰(3)　⇨北信越大会出場

令和元年度石川県高等学校総合文化祭（第66回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト石川県大会）

☆放送部門

○ラジオドキュメント部門
最優秀賞「私は俺に変わりたい」大和さやか(3) 薮下　果林(3)
優秀賞　「私たちの校歌」　鍵元　未優(2) 西田　七菜(2)
早松　澪奈(2)

○テレビドキュメント部門
優秀賞　「先生の働き方改革」　西田　早穂(2) 山下　夏美(2)
髙野　小雪(2)

○創作テレビドラマ部門
優秀賞　「風蓮怒死布」　谷保　愛華(2) 山下　夏美(2)
鍵元　未優(2) 西田　七菜(2)
髙野　小雪(2)

○研究発表部門
優秀賞「めざせ！イケボ!!」　谷保　愛華(2) 山下　夏美(2)
山本　楓佳(2) 薮下　果林(3)

⇨以上４部門で全国大会出場

第67回石川県吹奏楽コンクール
高等学校Ｂ部門　金賞・県代表

第60回北陸吹奏楽コンクール
高等学校Ｂ部門　銅賞

吹奏楽部　第45回定期演奏会を開催

去る６月１日（土）加賀市文化会館カモナホールにて、吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。28人の部員たちは素晴らしい演奏のみならず、劇やダンスなどの素敵なパフォーマンスで600人の観客を魅了しました。

また、会場で災害義援金を募り、寄せられた義援金を北陸中日新聞加賀通信局に委託しました。

同窓会・クラス会を開催された方々の記事を募集しております。

また、当時の思い出や、同窓会へのご意見をお寄せ下さい。

尚、紙面の都合上、掲載出来ない場合があります。ご了承下さい。

石川県立大聖寺高等学校同窓会 事務局
〒922-8510 石川県加賀市大聖寺永町33-1（鴻志館内）
TEL (0761) 73-2771
FAX (0761) 75-7117
学校 TEL (0761)72-0054
月～金曜日（水曜日 休）9:00～16:00
http://seiko-ob.org
E-mail：info@seiko-ob.org
大聖寺高校 同窓会　検索